

荒武担当分授業小テスト（5月18日）・評価のポイント【5/23 公布】

★学生へのコメントは5月24日に公開する。

★目安として3点未満は不合格扱いとする。次回以降挽回されたい。

○具体的に述べているか。1点。

○以下の各項目を指摘すること。4点。【小見出し】は荒武が便宜上付けた。山口先生の表現ではない。

① 資料・資料の取り扱いについて

【出所の明記】的確・正確な資料引用。出所の提示を行うこと。

→本講義の資料はすべて出所を明記している。

【資料の性格】信頼性の高い資料を用いること（資料の性格をきちんと把握すること）。

複数の資料を引用することで説得力と信頼性が増す。

→本講義では公的機関 HP、公文書、王朝の公式記録（『明史』）を利用。

→個人が残した記録などは複数提示している。

② 考察の糸口・これまでどういう議論がなされてきたか

異なる角度（賛否両論の意見、主張）からも考察。

そこから学問的な問いを導き出す

→対立する二つの主張（日本と中国）の根拠を検討した。

③ 実証作業から結論へ

資料に基づき検討作業を経て自分の主張を導き出すこと。

※双方の見解に問題点が！ →×「どっちもどっち」「様々な考えがある」で思考停止

→○ では君はどう考えるのか。どうすべきなのか。

※単に「人それぞれ、国それぞれでよい、はダメだ」と書いた人。レジュメにそう書いてあるから書いたのでは？ その先、結論を求める努力を怠ってはならない。

★非論理的・稚拙な文章は1点減点とする。優れたものは1点を加算する。

○おことわり：課題は「荒武担当分の“手法”と山口先生の担当分で学んだことの共通点」である。以上の各点＝山口先生の述べたことの“全て”ではないので、注意すること。

また山口先生が講義したが、荒武が言及していない点はカウントしない。

例：「“思う”は使わない」「ネットの利用」など。